

## 会 議 録

会議の名称	平成29年度 第1回西東京市スポーツ推進審議会
開催日時	平成29年4月12日（水）18時00分から19時00分まで
開催場所	保谷庁舎 別棟A会議室
出席者	(委員) 北岡会長、内田委員、飯塚委員、姉松委員、村上委員、前田委員、林委員、山縣委員 欠席 岡田委員、中山委員 (事務局) 宮坂課長、安田係長、本谷主任
議題	1 今後の審議会の進め方等について 2 西東京市スポーツ施設等指定管理者候補委員会委員の選出について
会議資料の名称	資料1 西東京市スポーツ施設等指定管理者候補選定委員会設置要綱 資料2 平成29年度スポーツ振興課予算概要
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

### 会 議 内 容

#### 1 開会

##### ○会長

ただいまより、平成29年度第1回スポーツ推進審議会を開会する。  
本日は、岡田委員、中山委員の欠席の報告を受けている。

#### 2 スポーツ振興課長挨拶

##### ○スポーツ振興課長

今年度は、昨年度に引き続き、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた気運醸成を柱としてスポーツ振興を進めてまいりたい。

昨年夏のリオ大会には、西東京市から3名の選手が出場したところであるが、来年冬のピョンチャン大会にはアイススレッジホッケーで出場を目指す選手がいる。さらに3年後には、東京オリンピック・パラリンピック大会が開かれる。東京でオリンピック・パラリンピック大会が開かれるということに限らず、この機会を得て、西東京市民の健康増進、スポーツを行う機会の充実、生きがいやスポーツの楽しさといった点においても市民にフィードバックされる事業を行ってまいりたい。

#### 3 新委員紹介

#### 4 議題

(1) 今後の審議会の進め方について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

今年度も昨年度同様、毎月第2水曜日 18時から開催させていただきたい。

○会長

今までと同時間帯での開催について、委員の皆様はよろしいか。

(一同了承)

○事務局

次回の開催については、別途通知させていただく。

(2) 西東京市スポーツ施設等指定管理者候補選定委員会委員の選出について(資料1)

○会長

指定管理者を選定する委員を1名選出することである。  
事務局から説明をお願いします。

○事務局

(資料1の説明)

本市は、平成18年度からスポーツ施設・運動場の管理について指定管理者制度を活用し、平成20年度からは、公募によって選定された民間事業者を指定管理者として、公共スポーツ施設における多様なスポーツプログラムの提供や利便性の向上を図っている。

現指定管理者の指定管理期間が、平成30年3月31日をもって終了することに伴い、平成30年4月1日から5年間の管理運営事業者の選定を行う。

委員会設置要綱により、選定委員会は、その内の1名を西東京市スポーツ推進審議会委員をもって構成することとされている。今後、当委員会にて事業者の選定を行った後、本年12月の市議会において指定管理者の選定について議決される予定である。

ご就任をご承諾いただける方はいらっしゃるか。

○会長

指定管理者を選ぶ方を推進審議会委員より1人選ぶことである。  
ご就任いただける委員の方はいらっしゃるか。

○姉松委員

私ではよろしければお受けする。

(一同了承)

## 5 報告事項

(1) 平成29年度スポーツ振興課予算概要及び平成29年度振興課事業計画について(資料2)

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

平成 29 年度予算について、スポーツ振興にかかる事業内容としては、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催に向けた気運醸成として、スポーツ・文化・教育の融合、オリンピックの理念をまちづくりに活かす内容となっている。

特に本年度から 2020 年度までの 4 年間については、新たな事業として「オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業」に取り組む。今年は、取り組み初年度ということから、市民の皆様への本事業の周知について力を注ぎたい。

また、障害福祉課等と連携し、東京都の補助金等も活用しながら、障害者スポーツの取り組みを実施していく。

前年度の本審議会においても話題にのぼった「多摩六都リレーマラソン」については、平成 29 年度からは、市単独事業として継続する。今までも障害者の方に参加していただいたが、障害の有無にかかわらず、スポーツに取り組める機会の創出に努める。

(資料 2 の説明) 平成 29 年度事業計画の重点事業について説明する。

- 1 スポーツ施設の整備として、総合体育館第 1 会議室空調設備改修工事、芝久保運動場通路改修工事を行う
- 2 総合型地域スポーツクラブの「にしはらスポーツクラブ」及び「ココススポ東伏見」に対し、活動支援、運営支援を行う
- 3 保谷中学校夜間照明設置については、スポーツの利便性向上、地域住民の自主的なスポーツを推進するため、関係課と調整しながら設置に向けた準備をする
- 4 多摩・島しょスポーツ振興事業については、子どもの体力・運動の能力の向上、住民の健康、スポーツ人口の拡大を図るため、「走って・蹴って・投げて」を継続実施する
- 5 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関する取り組みとして、障害者スポーツ地域振興事業では「ENJOY ニュースポーツ」、「パラリンピック競技体験事業」、普及啓発等事業では「スポーツで活躍する市民の応援事業」、「オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業」等を実施する
- 6 オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業は、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合及び独立行政法人日本スポーツ振興センターが企画する東京 2020 大会に向けた地域課題解決プロジェクトであり、足立区、江戸川区、西東京市の三自治体において「パラスポーツ（障害者スポーツ）を通じた社会課題の解決等」をテーマに実施する。

障害の有無に関わらず皆がスポーツに参加できる機会を提供し、障害のある人にとっては、社会参加と能力の開花、周囲の人にとっては、共に参加するスポーツを通じて障害のある人や障害に対する理解促進、差別の解消を図る。

東京 2020 大会開催の平成 32 年度まで 4 年間実施され、1 年間に 2 回程度オランダからアスリート、指導者等の派遣が予定されている。

○会長

ご質問やご意見等あるか。

○委員

オランダ連携事業について、東京都の中で、足立区、江戸川区、西東京市の三団体とのことであるが、立候補によるものか、または依頼されたものであるのか、その決定過程について伺いたい。

○事務局

立候補したものであり、書類審査、実地審査を経て決定した。

○委員

バドミントン協会では、オランダのバドミントンのパラリンピック会場に視察するなど動きがあり、オランダとの関連性を感じた。

○事務局

費用対効果の高い事業であるので、市民に周知し、その結果が市民のスポーツの機会の増大につながるよう取り組みたい。

○委員

市全体で見た時に、スポーツ振興課、指定管理者、高齢者支援課、健康課などで様々な講座等があり、それぞれが実施しているように見受けられる。

例えば、福祉会館で開かれている講座は、指導者がいても無料であり、参加者が多いものもある。各事業の兼ね合い、連携、相互の連携はできているのか。

○事務局

庁内連携は重要であると考えている。現在、東京都のオリンピック・パラリンピックの補助金を活用しながら庁内連携を行っている。

障害福祉課との連携としては、先ほども説明したように連携を強化しているところである。その他、健康課との連携としては、若年健康診査の参加者に対し、身体のゆがみやバランスを測定するコーナーを設けた。指定管理者が専用の測定機器を設置し、約 1,500 名の受診者のうち、約 360 名が参加した。

このような連携を行っているところである。今後、審議会のご意見などを活かし、さらに連携強化を図りたい。「オリンピック・パラリンピック気運醸成」「障害者スポーツの充実」等に向けて、またお知恵をいただきたい。

(1) その他

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

昨年度の市議会等における主な質問事項を報告する。

オリンピック気運醸成、市民が参加できる環境づくり、障害者スポーツの充実、多摩六都りレーマラソン、指定管理者制度、スポーツ振興事業補助金、ラグビーワールドカップ、地域総合型スポーツクラブ等の質問があり、良い事業を行っていると評価いただく一方で、今後さらに努力が必要だというご意見等もいただいたところである。

本審議会においても、事業等について今後もご意見をいただきたい。

西東京市スポーツ・運動施設平成 29 年度事業計画について報告する。

1 振興事業として、個人開放事業、スポーツ振興やスポーツ参加のきっかけづくりとして、スポーツ関係のイベントや大規模なスポーツ教室を実施する。

平成 27 年度は、個人開放事業が年間約 46,000 人、イベント等 25 事業約 11,000 人の参加があり、年々増加している。

2 自主事業として、誰もが気軽に参加・楽しめる運動メニューを提供し、各施設において市民ニーズにマッチしたスポーツ教室事業を実施する。

平成 27 年度は、フロアプログラムへの参加者が 86,000 人、プールプログラムへの参加者が 28,000 人であった。その他、高齢者向け事業、子育てママへの運動参加支援として、託児付教室を行う。

3 障害者スポーツの普及活動については、障害者と健常者及び指導者間の交流を生み出す事業を定期的実施する。

4 総合型地域スポーツクラブとの連携をさらに深めて地域スポーツの振興と発展に寄与する。

○会長

何かご意見・ご質問はあるか

年々参加者は増えているということであるか。

○事務局

そうである。

○会長

その他に何かあるか。

○委員

特になし

○会長

以上で本日の審議会は、閉会とする。